

授業科目名 (英文名)	教育心理学 (教職課程科目) (Educational Psychology)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	
担当教員	石田 潤	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程についての基礎的な知識と、発達を踏まえた学習を支える指導の基礎となる考え方について説明することが講義目的である。</p> <p>これらについて十分に理解するとともに、基礎的な知識や考え方を身につけることが到達目標である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴について説明する。続いて、幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的な知識と、発達を踏まえた学習を支える指導についての基礎的な考え方を説明する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達の過程と学習の過程及び相互の関係性 2. 発達の理解 (1) (発達の概念、発達理解の意義) 3. 発達の理解 (2) (発達の原則、遺伝と環境) 4. 発達の理解 (3) (発達の理論) 5. 発達の過程 (1) (運動の発達、知覚の発達、記憶の発達) 6. 発達の過程 (2) (言語の発達、思考の発達) 7. 発達の過程 (3) (社会性の発達) 8. 発達の過程 (4) (人格の発達 乳児期から青年期まで) 9. 発達の過程 (4) (人格の発達 青年期とそれ以降) 10. 学習の過程 (1) (行動面の学習とその理論) 11. 学習の過程 (2) (認知面の学習とその理論) 12. 学習の過程 (3) (動機づけの働きとその理論) 13. 学習の支援 (1) (主体的学習を支える動機づけ) 14. 学習の支援 (2) (主体的学習を支える集団づくり・学習評価) 15. 発達と学習の指導 (主体的な学習活動を支える指導の考え方) <p>定期試験</p>		
テキスト	使用しない。		
参考文献	『発達・学習の心理学』(柏崎秀子・編著、北樹出版)、その他授業内容の理解に役立つ補助資料を事前に配布する。		
成績評価の基準・方法	<p>(成績評価の基準) 授業内容を十分に理解し、基礎的な知識や考え方を習得できている者に単位を授与する。授業内容の理解度及び基礎的な知識や考え方の習得度に応じて成績を与える。</p> <p>(成績評価の方法) 課題レポートの出来栄 (50%) と、定期試験の成績 (50%) とで成績評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	授業に出席してしっかり聴講することが何よりも大事である。それに代替しうる学習成果は書物等による自習では期待できない。復習のしかたについては、内容に応じて授業の中で指示する。		
実践的教育			
備考	上記の授業計画は当シラバス作成時点でのものであり、授業の実施に際しては、受講者の理解度などを考慮しながら進めていくので、各授業回と講義内容との対応は必ず		

しも授業計画どおりになるとは限らない。